

講演会 水俣病は

終わらない—

～水俣病患者のコトバに耳をかたむける～

石牟礼道子『苦海浄土』から新村苑子『葦辺の母子』へ

講師

批評家・随筆家

若松 英輔 氏



◆作家紹介

石牟礼道子（いしむれ・みちこ）

1927年、熊本県天草郡に生まれる。69年
「苦海浄土」を刊行。水俣病の現実を伝え、
魂の文学として描き出した作品として絶賛される。

◆作家紹介

新村苑子（しんむら・そのこ）

1937年、京都にて出生。1945年、新潟市に転居。
「文芸驥馬」「北方文学」同人。新潟水俣病を題材に
2012年「律子の舟」、2015年「葦辺の母子」刊行。

2冊の書籍を通し、今もなお苦しむ水俣病患者の声を伝える

若松英輔氏プロフィール

新潟県糸魚川市出身。1968年生まれ、慶應義塾大学文学部仏文科卒業。2007年三田
文学新人賞、2016年西脇順三郎学術賞を受賞。著書に『イエス伝』『悲しみの秘義』
『言葉の贈り物』等多数。2016年9月、NHK・Eテレ「100分 de 名著 石牟礼道子
『苦海浄土』」に出演。

2017年 7月8日[土] 時間：午後1時30分～午後3時30分
(開場 午後1時)

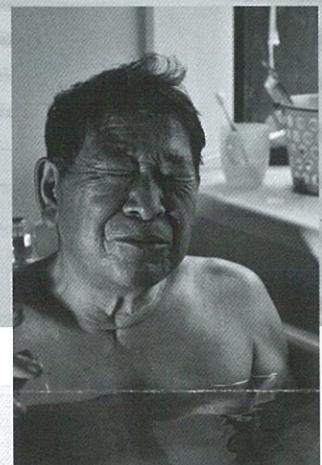
新潟日報メディアシップ2階 日報ホール(入場無料)
萬代橋・新潟駅側 新潟市中央区万代3-1-1



AGA MINAMATA

—水俣病は終わらない—

美しい阿賀の水面の側で、
今もなお、病と闘い続ける人々がいる。



◆新潟水俣病阿賀野患者会

法律や裁判で救済された患者や現在も裁判等で救済を求めている患者で構成される患者会。今年で結成10周年を迎え、会員数は450名。水俣病問題の歴史と教訓を継承する活動や患者の医療・介護および福祉の要求実現に取組んでいる。



AGA MINAMATA —水俣病は終わらない— 小原 王明 写真展

新潟日報メディアシップ20階そらのギャラリー

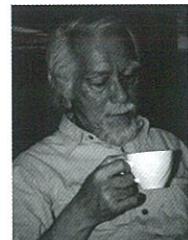
日時 2017年7月2日(日)午後1時～7月15日(土)午後4時
鑑賞時間(メディアシップ開館時間)午前8時～午後11時
※入場無料

小原氏の作品説明(7/8・7/14の午後3時から)

主催 写真家 小原王明(新潟県写真家協会理事)
& 新潟水俣病阿賀野患者会
(お問い合わせ) 090-3145-3855(小原) 025-244-0178(患者会事務局)

後援: 新潟県 新潟市 阿賀野市 五泉市 阿賀町

新潟日報社 朝日新聞新潟総局 読売新聞新潟支局 毎日新聞新潟支局
産経新聞新潟支局 BSN 新潟放送 N S T TeNY テレビ新潟
UX 新潟テレビ 21 新潟県写真家協会



写真家 小原 王明
新潟県写真家協会理事。
東京都出身、新潟県在住。
自然系カメラマンとして、
阿賀野川や白鳥の写真を中心
に撮り続ける。

